

日本製キャプテンチェアとアジア製コピー品との違い

折り畳み方式



左右2箇所・合計4箇所のヒンジで開閉

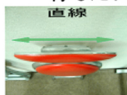


スライドリングがメッキパイプをスライドします

左側写真の輸入品は座部の折り畳みにヒンジを使用、それに対してキャプテンチェアはメッキパイプを金属リング（赤矢印）がスライドして開閉します。

その事で非常にスムーズで確実な開閉、さらに安全な使用ができます。（後項にて説明）

背もたれの形状



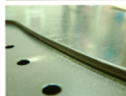
直線



背の形に合わせ湾曲



エッジが立っている



使用時におけるヒンジ式の折り畳み椅子との違い



座面前側に加重すると座面後側が跳ね上がる。（赤矢印）

そのすき間に手指が入り込むとケガの原因となります。

アジア諸国製の折り畳み椅子はヒンジを使用して開閉するので、座面の前側のみに体重がかかると構造上座面の後側が跳ね上がってしまいます。すると何かの拍子に跳ね上がったスペースに指等が入ってしまうとケガをしてしまう事が懸念されます。

それに対して日本製のキャプテンチェアは使用時にスライドリング金具がメッキパイプを押さえる状態となり座面前側に加重がかかっても座面が跳ね上がる事が少ない安全性の高い設計になっております。

これらの点がキャプテンチェアのアジア製コピー品が形をまねる事ができてその全てをコピーする事を技術面と製造コスト面からの理由で断念した秘密であり今日もユーザーの皆様にご愛用頂く、日本のモノづくりが作る家庭用折り畳みパイプ椅子・キャプテンチェアなのです。



座面の前側に加重させ使用していますがスライドリング（白矢印）がメッキパイプを押さえており座面後側が跳ね上がる心配がありません。